

農業参入フェア2015【東京会場】 出展者紹介

企業等1	NPO法人 阿蘇エコファーマーズセンター 『 プロ農家を育成する教育研修機関 』
<p>現役農業経営者(稲作、野菜、花き、果樹、畜産、酪農、観光農園、農産物加工等々)が中心となって、農業を志す人に自立できるよう育成、指導する実践的支援組織です。これまで新規独立就農者99名、農業法人雇用就農者96名(平成26年度8月末現在)を育成し、農業参入企業へのコンサル等を実施しているNPO(非営利活動法人)です。</p>	

企業等2	井関農機株式会社 『 夢ある農業応援団ISEKI 』
<p>弊社は日本唯一の農業機械の総合専門メーカーです。全国各地のネットワークで販売や営業提案、アフターサービスまで農業経営を総合的にバックアップいたします。</p> <p>弊社では作物・地域に合わせた農業機械体系(ハード)と栽培技術や ICT 技術(ソフト)の両面から低コスト農業をご提案しております。</p> <p>また、異業種からの新規農業参入への支援に取り組んでおり、具体的な事例についてご紹介いたします。</p>	

企業等3	株式会社インテリジェンス 『 農業人材の確保、育成、定着支援の豊富な実績と 「農業」を切り口とした集客ツールで 担い手の確保や移住促進をご支援します。 』
<p>第一次産業の人材を必要とする自治体様、農業法人様に対し、第一次産業専門求人サイト「第一次産業ネット」を運営する(株)life-Lab との事業提携により、農業(第一次産業)を希望する求職者への効果的なアプローチ、応募促進と採用管理、マッチングまでのフォロー(相談会、交流会)、人材育成や定着支援サービスを提供致します。</p> <p>各自治体様の施策と組み合わせて担い手確保のための効果的な提案を致します。</p>	

<p>企業等4</p>	<p>グリーンリーフ株式会社 株式会社野菜くらぶ 『 感動農業 人づくり 土づくり 』</p>
<p>農産物の加工品を20年前より手がけており、ヨーロッパなど海外にも出荷をしている。 また野菜の生産産地を群馬、青森、静岡、岡山にもち、独自プログラムにより農業法人、個人を含め独立者を育成。新たなチャレンジとして農産物を原料としたアルコール飲料を開発し販売を開始。</p>	

<p>企業等5</p>	<p>株式会社サラダボウル 『 サイエンスとテクノロジーで農業にイノベーションを 』</p>
<p>栽培技術をはじめ、原価管理や生産工程管理、人材育成、マーケティング、流通、消費者行動などの経営マネジメントノウハウを習得できる独自の教育システムを有すサラダボウルは、地域に根差した地産池消の戦略で成長してきました。さらに世界でも最先端の統合環境制御型大規模グリーンハウスの展開も行っています。みなさまに農業ICTや農業ロボットの開発も行い、テクノロジーによって農業の抱える課題を解決、現状を打破する農業経営メソッドをご提供致します。</p>	

<p>企業等6</p>	<p>農業生産法人 大盛堂生産農場 『 カッコ良くて感動的で楽しめる【農業生産】を目指そう 』</p>
<p>農業の学校 土づくり～生産販売まで 手間を出してではなくいろいろな農業、自然農業で機械を使って作物を作りだす。 農業最前線、収穫物を味わう、見る感動、これが大地の恵みです。 農作業体験、実践教育を進めます。</p>	

企業等7

株式会社ツムラ

『 自然と健康を科学する 』

当社は医療用漢方製剤の製造・販売メーカーです。漢方製剤の原料となる生薬は栽培により生産されるものも数多く、原料生薬の生産を通じて農業とも深い関わりを持っています。当社の原料生薬の主調達先は中国ですが、日本国内でも2009年には北海道夕張市に生薬調達拠点となる子会社を設立するなど、原料生薬の安定供給のため日本全国での生薬生産の拡大を目指して活動しております。

企業等8

農業生産法人 有限会社トッピーバー

『 次世代生産者である大規模農業経営の育成 』

初期投資を少なく、採算ラインの低い露地野菜栽培を。

栽培環境の厳しい露地野菜では、既存生産者の減少が進む中、需要を満たす新たな人材が必要とされる。

農業の中でも収益性の高い野菜栽培、多くの優秀な生産者が築いた収益性を継承出来る経営方法を考える。

今、農地流動性が活発になり始め、農地集約が可能となる農業界。

大規模農業経営を支える農業技術を持って、成功に導く発想と工夫の方法。

現在進行形の実例、さらに革新して行く実験・検証。

<p>企業等9</p>	<p>パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 『 黒字化には、工業技術の取り込みが必須。 「農業」を『工業化』した“真の植物工場”の誕生です。 』</p>
<p>植物工場の黒字化には、ランニングコスト削減が必須です。 パナソニックは、消費電電力を、従来の蛍光灯型工場比 40%、白色 LED 工場比 70%にまで削減しました。従業員数も自動化技術でほぼ半減。 更に、世界で初めて棚間温度差を 2 度以内に抑えたことで、生産歩留まりを 95%にまで高めることに成功しました。 また栽培ノウハウをお持ちでない異業種からの参入を容易にする「マウスクリック栽培」や、味と触感の作り分けを容易にする「栽培レシピ開発サービス」、等、他社に無い取り組みで、事業化と黒字化を確実なものにします。</p>	

<p>企業等10</p>	<p>パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 『 自然の力を活用した環境制御システムにより、 低コストで周年栽培と大幅な省人化を実現します 』</p>
<p>ほうれん草の土耕栽培を対象とした、環境制御機器を備えたパイプハウスのご提案です。自然の力を積極的に活用することで、省エネルギーでハウス内の環境を制御し、『周年栽培』と『大幅な省人化』を実現します。</p>	

<p>企業等11</p>	<p>マッシュトレーディング株式会社 『 秋冬の収益を支える新技術、生産マニュアル付「簡単茸生産」 専用発酵機は、農業法人の年間収支を改善します！ 』</p>
<p>農業法人の収益改善に当社開発の茸生産技術をご提案。 ①農業を行う法人様の農閑期の収入源として「秋冬に圧倒的にニーズが拡大する茸類」を簡易施設にて季節限定栽培 ②植物工場等の密閉式農業を行う法人様の収益補完として茸を通年栽培 ※使用後の菌床は有機堆肥に転用が可能です。収穫した茸は当社買取。生産技術移転はマニュアルの譲渡・当社工場にて管理者研修・御社工場でのOJT研修を行います。</p>	

<p>企業等12</p>	<p>第5回 農業ワールド 主催者事務局 (リードエグジビション ジャパン株式会社)</p> <p>『 新規参入を検討中の皆様 必見！ 10月14日[水]～16日[金]に、 過去最多700社が出展する農業の展示会を開催。 』</p>
<p>弊社は、『第5回 農業ワールド』を主催しております。(本年10月14日[水]～16日[金]開催)本展には、植物工場や6次産業化をはじめ、あらゆる農業技術・製品・サービスが出展し、農業界の有力企業との交流に絶好の場です。また、新規参入を検討したい企業様への『農業参入サポートサービス』や、最新トピック満載のセミナーも実施します。弊社ブースにて本展の招待券を差し上げますので、ご興味のある方はお気軽にご来訪ください。</p>	

<p>企業等13</p>	<p>株式会社 緑門</p> <p>『 塗ってよし！ 食べてよし！ 子供の未来をつくる奇跡のオイル TEAOIL(茶実油) 』</p>
<p>私たちは耕作放棄された茶畑を再活用して、塗ってよし！ 食べてよし！ のTEAOILを約15年の歳月をかけて作り上げました。肌の弱い赤ちゃんはもちろん、お母さんやおばあちゃんのお肌にも家族全員で楽しく使えます。肌の弱い人の悩みを解決しながら、耕作放棄茶畑も解決して、地域も元気にするオイルです。ビタミンEの含有率はごま油の約87倍！オリーブオイルの約5倍！椿油の約2倍です。アトピー、育毛、認知症への期待がある国産オイル『TEAOIL』はとても希少です。数量限定の受注生産にて行っています！</p>	

研修機関1

鯉淵学園農業栄養専門学校

『 実践的な農業技術と農業経営を教えます。 』

茨城県水戸市近郊にひろがる 50 ヘクタールの広大なキャンパスで、実践的な農業教育を実施しています。

開学 70 周年を迎え、現在までに数多くの農業者を育ててきました。

学生の農業教育の他、新たに農業に参入する企業様などが農業の技術を習得できるように実際に作物を作りながら「基礎から分かりやすい」指導をしています。研修は1ヶ月から1年まで、充実したラインナップの中から選択できます(研修期間は応談)。

また、カリキュラムは農業実習中心ですが、農業の知識を得るため、座学も取り入れることにより、実践的な技術と農業経営が習得できます。

研修機関2

タキイ種苗株式会社

『 この国の未来のために農業のプロを目指して学ぶ。 』

創立 68 年の実績。タキイ研究農場の優れた研究設備を活用し、先進の農業技術や技法を、短期に習得できる実習を主としたカリキュラムを編成しています。プロフェッショナルへと養成します。

■学部・学科・コースおよび特色

園芸本科:1年間(希望者は、さらに1年間専攻科へ就学が可能)

※専攻科について:本校、本科を卒業した希望者より選考する。

■入学金および受講料

自治全寮制、入学金・授業料は不要、寮費、食費ともに学校負担。研究費を支給。

■入学資格

高等学校卒業以上の24歳以下の独身男性で、身体健康で農業自営および農業関連の仕事を志す者。

<p>研修機関3</p>	<p>日本農業実践学園 『 まずは農業を実際に体験してみませんか。 』</p>
<p>農業は、テキスト通り、マニュアル通りにはうまくいきません。実際に種まきから収穫までを経験して、初めて理解できます。農業参入を考えたら、まずは現場で実践的な体験、研修をしてみませんか。</p> <p>当学園は、全国新規就農相談センター主催の「チャレンジ・ザ 農業体験・研修」で、稲作、野菜、水耕栽培、有機野菜、養牛、農産加工等を、年間通して毎週、毎月、3ヶ月毎に実施しています。特に、1ヶ月で種蒔きから収穫まで体験できる水耕栽培は、植物工場を考える上では最適な研修になると思います。</p> <p>週末に学ぶ「就農準備校」(農業入門コース、有機農業コース)も実施しています。</p>	

<p>自治体・機構 1</p>	<p>北海道 公益財団法人 北海道農業公社 『 北の大地で農業を考えてみませんか？ 』</p>
<p>北海道は、我が国有数の食糧供給基地として、専門的で大規模な農業経営が展開されています。一方で、今後の本道農業の発展のためには、農外からの新規参入をはじめ多様な担い手により地域を支えていくことが重要であると考えています。</p> <p>農地の取得(賃貸)にとどまらず、既存の農業法人への出資など、様々な参入の方法について、幅広く考えて参りますので、よろしく願いいたします。</p>	

<p>自治体・機構 2</p>	<p>公益社団法人あおもり農林業支援センター (青森県農地中間管理機構) 『 あなたの力で農業の華を咲かせてみませんか！！ 』</p>
<p>青森県は、「きれいな水」と「健康な土」などの恵まれた生産基盤、そして何より多くの優れた「元気な人材(農業者)」がいます。</p> <p>こうした環境の中で、青森で農業参入してみませんか？ 一緒に「攻めの農林水産業」を進めていきましょう！！ ぜひ、当ブースにお立ち寄りください。</p>	

自治体・機構
3

岩手県
『食と緑の創造県いわて』

意欲ある農業参入企業の皆様に、岩手県農地中間管理機構による農地の利用調整や、いわて農業参入支援センターによる生産技術指導や地域の食産業事業者とのマッチングなどを通じて、「食と緑の創造県いわて」の担い手として活躍いただけるよう支援します。

自治体・機構
4

宮城県
宮城県農地中間管理機構
『東北宮城の大地で農業ビジネス！』

宮城県は、「ひとめぼれ」が誕生した良質米の産地であり、東北一のイチゴ生産を誇る農業の盛んな県で、東北地方としては、比較的温暖で、降雪量が少ない気候です。現在、30社以上の企業が農業に参入しており、主にパプリカ、トマト、葉物等の野菜生産に取り組んでいます。震災以降は、大規模な農業法人の設立や日本最大級のイチゴやトマト等の園芸団地が形成され、先端技術の導入も進んでいます。この機会に、是非、宮城県での農業参入をご検討ください。

自治体・機構
5

公益社団法人 秋田県農業公社
『がんばる農家と新しい仲間を応援します！』

農業が盛んな秋田県では就農者へのサポート体制が整っています。

秋田で農業、始めませんか？たくさんの仲間があなたを待っています！

「あきたこまち」に代表されるように、秋田県は稲作中心の農業ですが、米価下落等農業を取り巻く環境が厳しい中、本県の課題である「規模拡大による競争力強化」と「米依存体質からの脱却」といった生産構造の転換に対して、農地中間管理機構である秋田県農業公社が果たすべき役割はとて重要です。

自治体・機構 6	山形県 公益財団法人やまがた農業支援センター 『山形県内での農業への新規参入や農業経営規模の拡大に向けて支援します！』
<p>これからの農業の維持・発展のためには、農外からの企業参入による新たな地域農業の担い手の確保や法人の経営規模拡大を進めていく必要があります。山形県の農地中間管理機構に指定されている公益財団法人やまがた農業支援センターでは、平成27年6月15日(月)～平成28年3月10日(木)まで、農用地等の借受希望者の募集を、全市町村全区域(35市町村129区域)で行っています。本県での農業参入については是非御検討ください。</p>	

自治体・機構 7	福島県 福島県農業会議 公益財団法人 福島県農業振興公社 『企業のみなさん、ふくしまで農業参入してみませんか。』
<p>福島県は、冬の日照に恵まれた太平洋側気候から気温の日較差の大きい日本海側気候まで多様な気象条件を活かして、水稻を中心に野菜、果樹等の多彩な農作物の栽培が可能です。</p> <p>また、首都圏に隣接し交通アクセスも良く、物流面でも好環境であり、放射性物質の検査体制も確立されていることから、新鮮かつ安全・安心の本県農産物を流通させることができます。</p> <p>本県での農業参入を検討される際は、農地に関する情報提供、各種助成金の紹介等を行いますので、是非御相談ください。</p>	

自治体・機構 8	茨城県 茨城県農地中間管理機構((公社)茨城県農林振興公社) 茨城県農業会議 『農業体験いばらきで農業をはじめませんか』
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都中央卸売市場における県産青果物の取扱い金額のシェア11年連続日本一！！ ⇒ 本県は、東京の中心から北東に 40～160km に位置しており、東京などの大消費地と隣接した位置にあり、農業を行う上で、好条件の経営環境にあります。 ○ 農業算出額は、6年連続で全国第2位！！ ⇒ 県の面積の7割が平地で、耕地面積は全国第2位となっており、年平均気温が 13～14.5 度の範囲で温暖であり、数多くの農産物を生産しております。 	

自治体・機構 9	栃木県 『 とちぎで農業にチャレンジしてみませんか 』
<p>栃木県では平成 21 年の農地法改正を契機に、県庁及び各地域の農業振興事務所において相談窓口を設置し、関係機関・団体と連携し、担い手が不足する地域における新たな担い手として企業の農業参入を支援しています。</p> <p>また、県ホームページ内に、県内市町から情報提供された「受入期待地域」を掲載していますので、ぜひご活用願います。</p>	

自治体・機構 10	群馬県 『 自然豊かな群馬県で農業を始めてみませんか 』
<p>群馬県では、企業等の農業参入を新たな担い手の一形態として位置づけ、地域との調和を基本に参入を支援しています。</p> <p><群馬の農業></p> <p>群馬県は、標高10mの平坦地から1,400mの高冷地まで耕地が広がり、利根川水系の豊富な水源と長い日照時間に支えられ、年間を通して新鮮で、美味しく、多彩な農畜産物が生産されています。</p> <p>また、大消費地である首都圏に近く、高速道路網も整備されているなど立地条件にも優れています。</p>	

自治体・機構 11	埼玉県 公益社団法人埼玉県農林公社 『 農業参入は埼玉で！ 』
<p>埼玉県は首都圏約4300万人という巨大マーケットの中にあり、充実した交通網、温暖な気候など農業経営に最適な条件が整っています。</p> <p>埼玉県は企業を「新たな農業の担い手」と位置づけ、企業と地域との橋渡しをお手伝いいたします。</p>	

自治体・機構 12	千葉県 『 農業やるなら ちば がいい ちば ん！ 』
<p>千葉県は、全国第3位の農業産出額を誇る農業県です！</p> <p>千葉県は温暖な気候と広い県土、豊かな自然に恵まれ、様々な作物の栽培に適しています。また大消費地に近く農産物の流通に有利なインフラ整備も進んでいます。</p> <p>本県に安心して農業参入し、営農活動を継続していただけるよう、農業参入を希望される企業の皆様方の相談に親身に対応させていただきます。</p> <p>農業参入をお考えなら、まず千葉県を候補としてお考えください！</p>	

自治体・機構 13	神奈川県 『 消費地かながわで農業はじめませんか。 』
<p>神奈川県は、約912万人の県民を抱える消費地であり、大消費地東京へのアクセスも良く、農産物の販売、物流に有利な立地です。</p> <p>都市近郊農業地帯であり、丹沢・箱根などの豊かな自然や、横浜、鎌倉、湘南などの観光地を抱えるなど多様な環境に恵まれており、農業生産の場だけでなく、農業体験や企業の福利厚生など多様な消費者のニーズに応じた農業参入の可能性がります。</p> <p>かながわ農業アカデミーでは、企業等の法人の農業参入の相談窓口を設け、農業参入にあたっての様々な情報提供をするなど、農業参入の支援をしています。</p>	

自治体・機構 14	山梨県 『 「やまなしで農業を始めませんか」 ～山梨県は農業参入したい企業を応援します～ 』
<p>【山梨県の立地条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏への好アクセス(甲府ー東京間 90分) ○良好な気候条件(長い日照時間、少ない年間降水量) ○標高差のある農地(標高 200～1,100m に分布) <p>【県が市町村や農業振興公社と連携し、積極的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参入候補地の選定 ○地権者との調整、農地の集積 ○参入希望地の基盤整備 ○各種補助事業の活用 	

自治体・機構 15	山梨県北杜市 『 安全・安心 日本の台所 北杜市 ～日本のフードバレーを目指す～ 』
<p>山梨県北杜市は、“日本一長い日照時間””日本のミネラルウォーター産出量の30%を占めるほどの豊かな水資源””3,000m級の山岳に囲まれた気象災害に強い地域””盆地特有の気候で寒暖の差で食物の旨味が増し、夜温も25°を下回る夏作に向く気候”など、農業参入に適している市です。</p> <p>平成16年11月の市町村合併以降、既に17社の参入があります。平成26年度には、「産・学・官」が支援するなか、参入した企業11社で「北杜市農業企業コンソーシアム」を立ち上げ、共通の課題解決や地域活性化のため活動を開始しています。</p> <p>市を挙げ、地域を挙げ、既参入法人が皆様の参入を歓迎いたします。</p>	

自治体・機構 16	長野県 公益財団法人 長野県農業開発公社 『 ～「しあわせ信州」で夢に挑戦する農業をはじめませんか～ 』
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域農業の維持・発展を図る観点から、地域の状況に応じて、農用地の有効利用や地域の活性化に資するよう一般法人の参入も含めて、多様な担い手の確保を図ります。 ◆市町村と協定を締結したり、地域の農業者との適切な役割分担のもと、地域と連携した参入など、継続的かつ安定的な農業経営が行われ、地域の農業振興に資する参入を支援します。 	

自治体・機構 17	静岡県 『 静岡県で農業を始めませんか ～企業の農業参入を支援します～ 』
<p>静岡県では、温暖な気候を活かして多様な農産物が生産されています。</p> <p>東京、名古屋の消費地へのアクセスも良く、立地条件も恵まれています。</p> <p>静岡県が中間管理機構に指定をしている静岡県農業振興公社には「農業参入支援センター」を設置し、農業参入を希望する企業に対して農地の確保もあわせた、きめ細やかな支援をしています。</p> <p>また、「農業参入法人研究会」を組織し、参入後も充実したフォローアップを行っています。</p>	

自治体・機構
18

新潟県

『 産業として成り立つ魅力ある農業を目指します。 』

新潟県の中山間地域等では、担い手が不足しており、一般企業による農業参入等、多様な担い手の確保を図る必要があります。

このため、県では、農業参入に関する相談窓口を設置するとともに、市町村から農業経営改善計画の認定を受けた参入企業等に対し、施設・機械等の整備などを支援しています。

自治体・機構
19

新潟県新発田市

『 水と土で創造する豊かな郷土 』

新発田市は、加治川の水系によって潤う、肥沃な大地が広がっており、県内有数の良質米コシヒカリの産地であるとともに、アスパラガスをはじめ、イチゴ(越後姫)、えだまめ、ねぎ、ナス、オクラ、オータムポエムなど、豊富な野菜の産地でもあります。また、市内には有機資源センターが3カ所あり、良質な堆肥の生産に努めています。市では、この恵まれた資源を活かし、「食の循環によるまちづくり」を進めており、土づくりから生産、加工、販売に取り組む農業者をサポートしています。

自治体・機構
20

富山県

公益社団法人 富山県農林水産公社

『 富山県では、企業の農業参入を応援します。 』

気候風土と豊かな水に恵まれた富山県は、全国屈指の水田率、ほ場整備率を誇り、米を主体として野菜、果樹、花き、畜産など、多様な地形を活かした農業生産が行われています。

富山県では、地域とともに農業生産を志す企業の参入を応援します。

ぜひ、富山県ブースにお立ち寄り下さい。

自治体・機構 21	石川県 『 世界農業遺産(能登の里山里海)の認定地の石川県で 農業に挑戦する企業を応援します! 』
<p>県内外の企業や農業法人の農業参入を推進するため、石川県が創設した営農支援(農業参入総合支援プログラム)、改善された交通アクセス並びに参入候補地や気象条件などの営農環境についても、ご紹介させていただきます。</p> <p>ぜひ、石川県ブースにお立ち寄り願います。</p>	

自治体・機構 22	岐阜県 『 農業するなら日本まんなか岐阜におんさい 』
<p>岐阜県農業は、「日本の縮図」ともいえる変化に富んだ自然条件と大消費地に比較的近い立地条件を生かして多彩に営まれています。とりわけ、美濃から飛騨にかけて多種多様な作物が周年にわたって栽培され、いつでも新鮮な農産物を供給できるということが特長です。</p> <p>岐阜県では、岐阜県農業会議とともに参入相談の実施、企業向け農業参入セミナーの開催、農業参入法人連絡協議会の運営など、農業参入の支援を行っています。また、農地中間管理機構と連携し、参入地域についてもご相談させていただきます。</p>	

自治体・機構 23	愛知県 『 愛知県で農業を始めたいと思っているみなさん! 』
<p>○愛知県内で農地を借りたい方は、公益財団法人 愛知県農業振興基金(農地中間管理機構)にご相談ください。</p> <p>○愛知県内で農業を志す方や、農業参入を希望する企業等は、県内8か所にあります農起業支援センターにご相談ください。</p> <p>※8か所の相談窓口や業務内容などは、下記ホームページに記載されていますので、確認のうえご連絡ください。</p> <p>「農起業支援センター」ホームページアドレス http://www.pref.aichi.jp/0000049582.html</p>	

自治体・機構 24	三重県 公益財団法人三重県農林水産支援センター 『 大都市(大阪・名古屋)近郊、好立地、四季折々の農産物が生産できる三重県で新たなビジネスチャンス(農業)を掴みませんか! 』
<p>三重県では、平成27年3月末現在で、農業に参入した企業数は61件あり、過去3カ年では増加傾向にあります。</p> <p>企業の皆様が農業を開始するには、さまざまな課題があると考えられますが、三重県では、農地の貸借については(公財)三重県農林水産支援センターなど、栽培技術については農業改良普及センターなどと連携して、円滑に農業参入できるよう支援をしています。</p> <p>農業に参入希望のある、または、興味のある企業様におかれましては、ぜひご相談ください。</p>	

自治体・機構 25	京都府農業総合支援センター 京都府 『 京都は、観光だけじゃない! 農業もブランドです♪ 』
<p>「京都」ブランド!</p> <p>国内外からの観光客数が上位に位置する京都は、農業のイメージは稀薄かもしれませんが、賀茂なすや九条ねぎなどの「京野菜」、「宇治茶」はもとより、「丹波黒大豆」、「丹波大納言小豆」、「丹後コシヒカリ」など、京都特有の気候風土から生み出されるおいしい産品があります。</p> <p>また、6次産業化による商品開発では、原材料を「京都産」として販売することができ、観光客等へのアピール度も抜群です。</p> <p>まだまだチャンスのある京都で、農業参入の夢をつかんでみてください。</p>	

自治体・機構 26	一般財団法人大阪府みどり公社 『 マーケットの中で新しい農業を！ 』
<p>大阪府では、豊富な産業基盤をベースに、生産、加工、流通まで新たなビジネスチャンスが芽生えています。</p> <p>大阪府みどり公社は大阪府や市町村等と連携し、多様な担い手の農業参入支援を行っています。</p> <p>「農と福祉の連携」など多様な動機による農業参入の事例も豊富で、また今年度から新たに府が独自の簡易整備等の補助事業を創設しており、企業の農業参入をバックアップします。</p> <p>さらに、新たに、現在の企業ニーズにマッチした農地整備も岸和田市で始まっていますので、そのような情報を提供致します。</p>	

自治体・機構 27	兵庫県 公益社団法人兵庫みどり公社－農地中間管理機構－ 『 兵庫県で新たなビジネスチャンスを見つけてみませんか？ 兵庫県での農業参入は、兵庫県・(公社)兵庫みどり公社(農地中間管理機構)にお任せください。 』
<p>兵庫県では、新たに農業参入に興味をお持ちの企業の皆様に、円滑に農業参入し、継続的に事業展開できるよう、ご相談に応じるほか、初期投資の負担軽減、農業参入セミナーの開催等の支援を実施しています。</p> <p>また、兵庫みどり公社(農地中間管理機構)では、本社、県下10カ所の農地管理事務所に専任の農地集約推進員を計12名配置し、農地の受け手の皆様が納得できる農地を借入れられるよう調整いたします。(H27.3 末参入実績:115 社)</p>	

自治体・機構 28	島根県 公益財団法人しまね農業振興公社 『 ●●●●● ご縁の国 しまねで農業を ●●●●● 』
<p>島根県では、(公財)しまね農業振興公社(＝農地中間管理機構)などの関係団体や市町村、県の農業改良普及部局等が緊密に連携し、企業の農業参入を推進しています。</p> <p>新規参入に関する相談、農地の斡旋、試作研究や設備投資等に対する補助金、セミナー開催、農業参入後の経営改善に向けた助言など、幅広いご支援をしています。</p> <p>国営農地開発地などまとまった農地もあります。島根の豊かな自然の中で農業をしませんか。</p>	

<p>自治体・機構 29</p>	<p>岡山県 公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団 『「晴れの国おかやま」で農業参入しませんか！ 天の利、地の利、人の利。 岡山は3つの利がクロスする、西日本屈指のアグリポイントです。』</p>
<p>「晴れの国おかやま」と呼ばれ、温暖な気候で自然災害が少なく、農業に好適。 大消費地の関西圏に近く、西日本を貫くハイウェイがクロスする、広域物流の拠点。 白桃、マスカット、ピオーネに代表される「くだもの王国」として高い技術を誇り、優秀な人材が豊富。 「天の利」「地の利」「人の利」が備わった農業好適地岡山で農業参入しませんか。農地中間管理機構で農地の確保をサポートします。</p>	

<p>自治体・機構 30</p>	<p>広島県 『ひろしまの農業はいま、企業の「力」を求めています。』</p>
<p>広島県では、農業が産業として自立することを目指して、経営力の高い担い手の育成を推進しており、企業の農業参入をはじめとする農業の新たな担い手の育成に取り組んでいます。企業の皆様が農業ビジネスに参入し、「地域のパートナー」となっていただくことにより、地域の活性化につながることを期待しています。市町と連携した支援体制により、企業の農業参入実績は75社(H27.8時点)であり、30億円の農業生産と900人の雇用を生み出しています。</p>	

<p>自治体・機構 31</p>	<p>山口県 『おいでませ山口へ』</p>
<p>山口県は、瀬戸内海、日本海の沿岸部から山間部まで変化に富んだ地形からなり、多様な自然条件や地域特性を活かした農業が営まれています。 水稻を中心に、野菜、花き、果樹等多彩な経営が行われ、瀬戸内海沿岸では施設園芸やかんきつ類、中山間地域では野菜、落葉果樹等が盛んです。また、最近は集落営農法人の設立も進んでいます。 山口県では、本県への農業参入を支援するため、様々な場面で参入企業のお役に立てるよう努めています。ぜひ、山口県への参入を御検討ください。</p>	

自治体・機構
32

愛媛県

『 柑橘王国 愛媛

技術力アップもあわせて支援します 』

愛媛県では、紅まどんなやせとか、甘平、ブラッドオレンジをはじめ、清見、ポンカン、伊予柑、デコポン、河内晩柑、レモンなど40種を超える柑橘が海岸部や島しょ部で作られています。内陸部では、柿やブドウ、栗などの落葉果樹も盛んです。

また、イチゴでは甘さが際立つあまおとめや酸味と甘みがほどよい赤い雫。花ではデルフィニウムのさくらひめなど、優れた品種が揃っています。技術的な支援は、農林水産研究所やみかん研究所などの研究機関と連携して、県内13か所にある農業技術の普及組織が行います。

自治体・機構
33

高知県

『 農業の未来を耕すぜよ。

進化し続ける園芸王国高知で、

新たなアグリ・ビジネスを始めませんか！ 』

●高知県は従前から園芸農業が盛んで、多品目で園芸栽培できる技術の蓄積があります。より収量を高める環境制御技術などの新しい技術の普及にも積極的に取り組んでいます。各種補助制度もあります。

●都市部と比較して求人倍率が低く、人が集まりやすいと言えます。人材確保もサポートいたします。

自治体・機構
34

福岡県

『 セミナーや研修会を開催し、農業の新規参入を支援します！ 』

福岡県では、農外からの新規就業者の拡大を推進しています。

具体的には、セミナーや相談会、就農フェアの開催、県普及指導センターでの就農講座の実施等により、支援を強化しています。

企業の農業参入については、県農林水産政策課で、一般的な照会・相談に対応しています。

自治体・機構 35	佐賀県 佐賀県農業会議 佐賀県農業公社 『 農業県佐賀で農業参入してみませんか！ 』
<p>佐賀県には圃場整備が整った広大な佐賀平野の水田や、福岡都市圏に近い高冷地(中山間地域)、さらには、用水設備も整った上場台地の畑作地などがあり、多様な地域で多彩な農業が可能な県です。当県での企業の農業参入はこれからですが、地域農業を担う担い手として、期待していますので、是非、お話を伺わせてください。よろしくお願いたします。</p>	

自治体・機構 36	公益財団法人 長崎県農業振興公社 『 離島も含め、温暖な気候の中、一年中農業が展開できる 』
<p>企業・個人それぞれに、希望する地域で農地のあっせん～補助事業の活用まで一貫して対応を行います。</p>	

自治体・機構 37	熊本県 公益財団法人 熊本県農業公社(農地中間管理機構) 『 熊本で農業をはじめの企業を支援します。 』
<p>熊本は全国有数の農業県。温暖な平坦地から冷涼な高冷地まで様々な気候や地形があり、恵まれた自然環境のもと多彩な農産物の生産が可能です。また、意欲ある農業者に最先端の農業技術や知識を幅広く提供する取り組みも行っているため、パートナーとなる高度な技術をもつ優秀な人材が豊富です。農業参入を検討する際は是非ご相談ください。参入前の検討から参入後の営農まで専従スタッフが細やかにバックアップします。</p>	

自治体・機構 38	大分県 『 日本一のおんせん県おおいたで農業参入しませんか 』
<p>大分県は豊かな自然に恵まれており、新鮮で豊富な農産物を産出しています。また、九州産の安心安全な食料や加工品は、日本国内はもとよりアジアでもニーズが高く、多くの企業の皆様から大分県での農業に期待が寄せられています。</p> <p>大分県では企業の農業参入をワンストップでプラン作成から営農相談まで専任スタッフがサポート致しますので、ぜひご相談ください。</p>	

自治体・機構 39	大分市 『 都市のもつ豊富な雇用労力を活かし、 大分市で農業を始めませんか？ 』
<p>大分市は、都市近郊農業の特色を活かした雇用型の農業が盛んで、また、4か所のインターチェンジがあり、流通における利便性にも優れています。</p> <p>意欲ある企業の皆様に地域農業の担い手になっていただくことを目指し、各種支援策で農業参入を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新規雇用に対する助成金(雇用促進助成) ■農業用施設などに対する補助(施設等整備事業補助金) 等 <p>※要件等の詳細については、お問い合わせください。</p>	

自治体・機構 40	宮崎県 公益社団法人宮崎県農業振興公社 『 宮崎県は企業の農業参入を応援します。 』
<p>宮崎県では、県庁内にワンストップ窓口を設置し、企業様等へ積極的な情報提供を行っております。</p> <p>また、企業様の農業参入が円滑に進むよう、県・市町村・宮崎県農業振興公社等が連携して地域との調整を仲介いたしますので、いつでもお気軽にお問い合わせください。</p> <p>なお、農地の借受を希望される場合、宮崎県農地中間管理機構(宮崎県農業振興公社)では、借受希望者の公募方法を見直し、7月より周年で公募を実施しております(一部市町村を除く)ので、是非ご利用下さい。</p>	

自治体・機構
41

鹿児島県

『 鹿児島県は企業等の農業参入を支援しています 』

鹿児島県では、農業参入した企業等を新たな地域農業の担い手として位置づけていることから、参入に係る相談窓口の設置や、研修会、農業参入塾の開催のほか、参入方法や支援制度の情報提供、基礎的な農業技術や営農計画の立て方などの習得を支援しています。

相談1

公認会計士・税理士 佐藤宏章事務所

『 日本初の農業に特化した専門家

農業を成長発展させ所得向上、価値を高める経営を！

農業プロフェッショナル・サービスNo.1 』

公認会計士・税理士佐藤宏章事務所代表。農家出身。東京農業大学農学部農学科卒。
現在「農業経営の発展に貢献する」との信念のもとコンサルティング・セミナー・執筆等を通して農業経営者へ経営・税務・会計を分かりやすく伝えることをモットーとし全国展開で活動。
「農業経営」や「6次産業化」に関して第一人者として称賛され、農業新着情報を随時配信しているブログ『日本初の農業に特化した専門家』は多数の農業経営者が閲覧し好評。
また各自治体での次世代農業経営者育成の取り組み、テレビ出演など幅広く活躍。
詳しくは当事務所HP参照。【農業 会計士】又は【農業 税理士】で検索。

相談2

日本政策金融公庫 農林水産事業本部

『 企業の農業参入を資金面で応援します！ 』

日本政策金融公庫農林水産事業では、政府の目指す農林水産業の競争力強化へ向けて、企業の農業参入のほか農業法人など地域の中心経営体の発展、新規就農者の育成といった取り組みを推進しているほか、農業経営アドバイザーによる相談対応や、国産農産物・加工食品の展示商談会「アグリフードEXPO」による販路開拓支援などの経営支援サービスを提供しています。

相談3	<p>株式会社農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)</p> <p>『 A-FIVEは6次産業化への取組を総合的に支援します。 ～官民ファンドが6次産業化をサポート～ 』</p>
<p>農林漁業成長産業化支援機構は、国と民間が出資した官民ファンドです。農業と製造業・流通業等を組み合わせて6次産業化を目指す起業家の皆さんに、会社設立時の金融(出資等)支援、会社設立後の経営支援を行います。</p> <p>さらに、これから6次産業化を目指す皆さんのためには、商品開発から販路拡大までさまざまな分野・領域に精通した専門家を派遣する事業も行っております(6次産業化中央サポートセンター)。</p> <p>6次産業化を検討されている起業家の皆さん、是非、当機構の相談ブースにお越しください。</p>	

相談4	<p>農林水産省(企業参入全般)</p> <p>『 農林水産省は企業の農業参入を応援しています! 農地制度や国の各種支援策を御紹介します。 』</p>
<p>農林水産省本省及び関東農政局による企業参入全般に対応するブースです。</p> <p>全面自由化されている企業の農業参入の仕組みや、農地中間管理機構などを御説明します。</p> <p>また、その他国の各種支援策についてもお気軽にお尋ねください。</p> <p>このほか、農業政策に関する各種御相談、御疑問及び御意見など、担当者が丁寧に対応します。どのブースに相談にいけば分からない場合も含めて、お気軽にお立ち寄りください。</p>	

相談5	<p>農林水産省(6次産業化関係)</p> <p>『 6次産業化に取り組む農林漁業者の皆様をサポートします! 』</p>
<p>6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農林水産物やバイオマスといった農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。このような取組は、農山漁村の所得の向上、雇用の確保を図る上で重要であり、意欲ある農林漁業者の皆様が主体となって6次産業化に取り組めるよう、農林水産省では、支援メニューを準備しています。</p>	

相談6

全国農業会議所

『わが国最大の農地情報サイト

全国の農地一筆ごとの情報を網羅』

農業参入にあたって最大の課題は農地の確保です。栽培する作物と数量、販売計画を策定するうえでも農地情報はその基礎となるものです。「全国農地ナビ」は、農地法等に定められた農地一筆ごとの公表項目の情報をインターネットによって見ることができるわが国最大の農地情報サイトです。